

海外婦人労働資料第十九号

海外女子労働の動向

女子と労働力――

労働省婦人少年局

海外女子労働の動向——女子と労働力

——第三十一回国際労働総会（一九四八年六月—七月）事務局総長
報告——「世界の労働事情」より

戦争直後の変動を経て、多くの国々では女子労働者が大いに進出し、戦前の水準よりも相当高い水準に達している。而してある程度まで戦時中の女子労働の発展の結果を計り得る時期に到達した。多くの国々では労働力の缺乏の結果として女子の労働力を産業界に吸収する努力が払われ、またすでに航業中の者は能う限りそのまゝ継続するよう努めている。事実、女子労働力の産業界への自由流入を放任してあるのみならず、むしろ積極的に女子の労働力を促進させる傾向にある。取年（一九四七年）中は種々の宣伝活動をも含んで、是等の方法による女子労働者の募集が行われる一方、行政当局は臨時働く婦人の家業上の負担を軽減させる必要を認め、そのために努力してきた。

アメリカでは、一九三九年十月から一九四三年十一月までに志願就業した二五〇万の生産業務女子労働者の中、百万人はまだその取組にとまづいており、一九四七年三月に推定されている。一九四七年九月の全民間労働力の内二八・四%を女子が占めており、一九四〇年三月の二六%よりも高く、戦時中の最高一九四四年十二月の三四%よりも低くなっている。オーストラリアでは、戦後女子の雇用数は減少しつつあったが、一九四七年九月を契機としてその傾向は上昇をはじめ、一九三九年七月の四三・七二〇〇人に対し、一九四七年九月

には六三・九二〇〇人となっている。フランスでは、一九四九年一月以降女子労働者雇用の増加が顕著となり、一九三九年（前戦前の最後の調査）の産業界に雇われたい女子労働者数は一六五・〇〇〇に比し、一九四七年一月には一八〇・〇〇〇に昇っている。全労働者数に対する女子労働者数の平均比率をみると、一九四七年一月（二八・九%）が一九三九年（二八・五%）よりも多少高い。女子雇用の増加した産業界は、主として通常女子の労働力を余り使用していない金属加工業（二八%）、建築業（二一%）、木材業等である。スイスでは、工場法の適用をうける事業場に雇われたい女子の数は一九四九年の一五三・〇八人から一九四七年九月の一七三・九三人に昇っている。イギリスでは、製造工業における女子労働力（十四才から五十才まで）は、一九三九年六月の二一八・〇〇〇人に比し、一九四七年九月には二二一・八〇〇人に増加している。ユーゴスラヴィアでは、労働者従業員合同組合の中央委員会では、一九四七年十一月、多ファシスト婦人戦線と協力して、定期に女子労働力動員計画を推進して産業界における女子労働力の増加を期することと提案した。その一つとして、ボスランドでは、一九四七年から一九四九年にわたる三年計画を立て、その一つとして戦前ならびに占領によるボスランド男子の人口減少による労働力不足を補うために女子労働力の増加を企てた。現在同国における人口の男女比率は男一〇〇に対して女一一・八とな

女子労働力の需要度は国々によつて大いに差異がある。たとえば、オーストラリア、カナダ、スイスなどは女子の新規採用は勿論、現雇用者の解雇を勧誘する必要も感じていない。他の国々では、全国募集運動や、特殊産業取組に対する募集計画などによつて、女子労働力の増進を計つてゐる。労働力が極端に缺乏してゐる国では右の両方、或はとられてゐる。

たとえば、イギリスでは、女子は一俵の労働力配分を統制する方策、すなわち統制命令、および一九四七年に制定された雇用登録令の適用をうけることになつてゐる。後者の登録令は十八歳以上四十才の女子に適用される。イギリス、大政府は一九四七年八月以降特に女子を対象として募集運動を展開し、すでに相当の成績をあげてゐる。

普通には多数の女子を雇用しなかつた産業に、より多くの女子労働力を吸収しようとする特別な努力が払われてきた。これに因襲してフランスの労働大臣が興味ある態度を示している。即ち、婦人や少女たちの職業学校進学を妨げることをなさないように、また、女子が職業生活に努力不足に陥る金属産業等に就取させるよう努力すべき訓令を該当局に発してゐる。今エコースロヴァキアでは、女子に適した取組を一覽表にして公表宣伝してゐる。その中には化学工業、硝子工業、電気工業、木材工業が含まれてゐる。また、地方労働紹介所は求職者と職業を紹介する場合、女子に取組を優先優先とすることになつてゐる。

各方面で女子労働力の採用が必要とされるに至つた結果、初め婦人の家事労働を合理化させるための特別募集は機内および施設の必要といふことがますます表面化してきてゐる。そこで

戦時中に大いにその効果があったとして編纂の経路が再び復活されるに至つた。イギリスでは、雇用登録令の適用除外申請をする理由となつてゐる婦人の特別な家事状況を調査する審査委員会が任命されることになつてゐる。委員はこれに水の方の最近の実際の実情を把握し家庭問題の取扱に注意を注ぐべき者を選ばれようあらゆる努力がなされてゐる。フランスでは、賃料と労働力の不足から託児所、保育所、合同修理所、洗濯所、食料店、婦人及児童のための施設が予定通りに完成できなかった。しかし、こうした施設は決定の主な原動力であつた労働委員会及労働組合、婦人部は相当の進歩を示してゐる。また、同じような計画がエコースロヴァキアでも行われてゐる。イギリスでは、婦人労働者に従事する女子労働者を募集する強力な運動が展開されようとしてゐるが、政府は主として保育所、食料店の設置に必要と賃料の優先創出を決定した。

また、ある国々では女子のパートタイムによる雇用が新たに重大さを示してきてゐる。イギリス、フランス、ノールウェー、及びエコースロヴァキアではこの形式で女子の就取が今後ますます増大するものと予想される。イギリスでは六十五万余の女子がパートタイムで就業してゐるが特に看護婦のパートタイム勤務が新に注目されて大々的な成功をおさめてゐる。一九四二年八月には、三五〇〇人以上の認可看護婦並に産婦人科病院でパートタイム勤務を行つており、そのあるものはまだ試験的方針にすぎないが、慎重に立案された計画表と勤務条件の下に、大々的な成功をおさめてゐる。

所効力の缺乏を補うため女子所効者を多数採用してゐるところでは、こゝでも所効条件の改善に絶えず努力をいつけてゐる。フランスでは、病院の取費、看護婦及び社会事業家の組織を完成し、これらの取費における取費訓練、取費令額、給与及び就業条件を向上させるため特別を能くせられ、印度及びイギリスでは看護婦の募集と訓練のため慎重な考慮をしてゐるし、ブルガリアでは、家事従業者のその所効条件や就業条件に因する規則が公布された。フランスでは、社会保険法を家事従業者に適用する法律が制定され、また一般賃金の騰貴にともない、彼等の賃金も増額された。イギリスのある種の飲食業の所効者の賃金及び所効条件が一定され、カナダとアメリカのある州では、旅館および料理店の家事所効者の最低賃金が決定され、或はその引上げが行われた。しかし、このような方法がとられてもまだ如上の業務に必要とする所効者の確保がなかつた。また、所効者の確保がまだ計画の中であつたり、あるいはまだ長期計画であるためその効果があらわれるのは数年後であつたりするもの、ある国々ではその補正政策として、外国所効者を輸入し、その中にはヨーロッパの難民も含まれてゐる。これらの仕事に対する従業員の不足を補ふべくしてゐる。こうして女子が就取した取費の主なるものは家事所効、病院または研究所等の難民並みに技能工業の所効である。外国所効者の輸入政策は一九四七年には相当強化された。イギリスでは一九四八年一月までに二八二二六人の外人家事従業者の入国許可があり、一九四七年中には三八〇五人の婦人が入国して優先的に家事従業につき、一九四七

年十一月までに五二〇〇人の主としてヨーロッパの婦人が技能工業に就取した。一四〇〇人の以上の婦人がヨーロッパの難民收容所からカナダへ移り、病院その他のサービス事業の難民に雇われ、その一節介は一般家庭の家事所効に従事してゐる。またフランスでも同様のことが行われてゐる。